

いけだ

No.124

議会だより

令和元年10月30日発行

がんばった！みんながみんな1等賞
年長りんごぐみ 見事な走り 会染保育園運動会



特集 議会報モニターさんに聞く

平成30年度決算審査……………P4～P7
補正予算の目玉事業……………P8
活動レポート 森林整備 県に要望……………P12
9議員が町政をただす（一般質問）…P13～P19
町民の皆さんに聞く……………うら表紙



議会だよりをスマホで読む！
「いけだ」をスマホで読む！
「いけだ」をスマホで読む！

特集

議会報モニターさんに聞く

議会報のモニターをお願いしている3名の方々から、議会報から始まる町づくりについてお話しいただきました。

ラグビーのように

「にわか議会ファン」を増やす取り組みも大事だね。

〈議会報モニターになってみて感じたことは〉

- 町の広報は見るけど、議会だよりはほとんど見なかったです。正直なところ。でもモニターになってみて、隅々までよく読むようになった。
- 結構時間かけて見ているんだよね。隅々まで見ないと感想は書けないから。自分の物差しでコメントしているの、たまには見逃してもらいたい（笑）
- よく読ませていただいています。少し個人的な意見になっているのではないかと心配することもあります。町民のみなさんがどのように受け止めているのか、関心があると思います。

〈町民の皆さんの関心を引き出すには〉

- 多くの人に議会報モニターになってもらうのも一つだと思う。ただしコンセプト



石原 孟さん（南台）



高山さち子さん（渋原）

- をしっかりとしてお願いする取り組みが必要なのでは。その中で、アンケートを取ったらどうだろうか。
- ラグビーワールドカップで盛り上がっているけど、ラグビーの「にわかファン」が増えてきているみたい。議会も「にわかファン」を増やす取り組みも大事だね。「にわか」というところが大事で、「にわかファン」の中から本当のファンが生まれてくるのだと思う。200人くらいの「にわかファン」を作ると全然違ってくると思う。



丸山史子さん（一丁目）

〈もっと多くの方へ届く情報発信方法は〉

- インターネットのホームページが硬いと思う。もっと柔らかくしてもいいと思う。
- 議会だよりにQRコードを入れたのは良い取り組みだと思う。町の他のパンフレットでも入れてもいいのでは。
- あづみ野テレビで議会中継が始まって、契約している人は録画もできて観ているみたい。限られた人しかまだ観られないので、町の施設で議会中継が観られる場所を紹介してみたいと思う。
- ユーチューブでも観られるけど、視聴している人数がちょっと少ないのでは。

〈女性が気軽に参加できる議会は〉

- 議会は面白くなくてはいけないと思う。特に女性の皆さんが気軽にピクニックに行くような気分になって議会と関わる取り組みも必要だと思う。
- 交流センター「かえで」ができて多くの場所が飲食可能になった。以前の公共施設は飲食ができなかったけど、やっぱり何か食べながら事業に参加できるのをみんな望んでいたんじゃないかな。

〈議会に対して提案を〉

- 自治会にトレッドマークがあるところがある。全部の自治会にマークがあつて、マークを囲んで会議ができれば楽しいんじゃないかな。自治会はイベントを中心に企画している所も多いけど、マークをみんなで考える事業もいいと思う。一つのマークで自治会の団結も強まるのでは。これは町全体の取り組みとして、ぜひ議会で取り組んでほしいなあ。



貴重なご意見をいただきました

メモ

議会報モニター制度とは

年4回発行される「議会だより」を読んできたとき、感想・意見などを送っていた制度。モニターになっていただいた方は、手紙・メール・ファックスなどで、議会事務局にコメントを寄せていただきます。定員は6名で、年額3千円の報酬です。興味のある方は議会事務局までお問い合わせください。

設と周辺道路、公園が完成。 増した。

歳出総額 72 億 9540 万円となり、実質公債費比率は

9月定例会の概要

9月定例会は9月9日から20日まで開かれた。承認1件、30年度決算認定6件、議案27件、発議6件、発委1件、同意2件を審議し議決した。意見書6件を国、県の関係機関に提出した。

主 な 事 業

児童センター管理経費

2413万円

平成30年度より「児童クラブ」と「放課後子ども教室」に分け、過密化を解消した。児童クラブは、放課後留守になる家庭の児童に生活と遊びの場を提供。放課後子ども教室は、だれでも利用でき地域の方や様々な年齢の方とも関わり自由な活動の場。



会染児童センター

農地耕作条件改善事業

2億2143万円

区画整理(鵜山、林中、渋田見)及び用排水路の改修(十日市場、滝沢)により農地がより使いやすくなった。



鵜山地区着工前 全景



しゅん工 全景

学校施設改修事業

7122万円

池田小学校大規模改修(床塗装、網戸新設、ガラス飛散防止フィルム貼りなど)より安心・安全な学校になった。



改修後、きれいになった床

福祉医療給付事業

6337万円

18歳までの子ども、重度心身障がい者、母子、父子家庭の医療費の給付を行った。

※金額は、1万円以下は切り捨てにしております。

平成30年度 決算

交流センター「かえで」建 しかし財政状況は厳しさを

一般会計、特別会計は、歳入総額 75 億 2050 万円、
10.4%となり昨年より 1.6%上がった。

平成30年度の

一般会計の概要

平成 30 年度決算は歳入 56 億 4496 万円、歳出 54 億 4344 万円となり、2 億 152 万円の黒字になったが、社会資本総合整備事業など翌年に繰り越した 1 億 3745 万円が含まれているので実質収支は 6407 万円となった。さらに前年度の実質収支 7321 万円を引くと単年度収支は約 913 万円の赤字となる。さらに、財政調整基金を取り崩したので実質単年度収支は 2 億 1825 万円の赤字となった。

交流センター建設事業

4億9704万円
(平成30年度分)

町民の文化と教養、子どもから
高齢者までの交流の場として建
設された。(ホール、図書館、学
習室、作業室など)

契約額 10億5624万円
(平成29、30年度)

工 期 平成29年12月19日
～31年7月31日



交流センター「かえで」

専門学校整備事業

4056万円

日本アルプス国際学院の第一
校舎(福社会館)改修整備費
1117万円のうち799万円と
寮(旧安曇養護学校寮)改修整
備費 395万円は、学校が賃
借料に上乗せして町に納める。
町負担は旧福社会館改修費の
317万円



校舎となった旧福社会館

移住定住推進事業

1113万円

空き家バンク 15件登録、7件
契約(売却6、賃貸1)
平成29年度から30年度末ま
で16件契約(売却13、賃貸3)
移住者実績 45人
移住体験ツアー、シンポジウ
ム、お試し住宅など実施。



お試し住宅(豊町)

平成30年度 一般会計決算



決

算

審

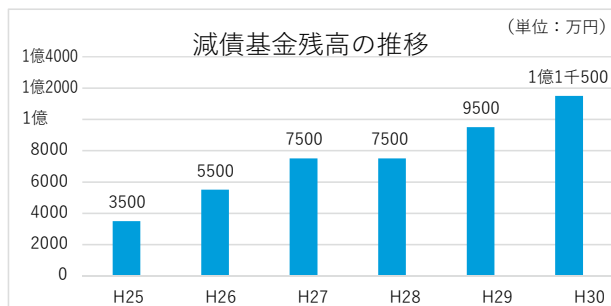
査

質疑内容

町債の見通し

問 町債の繰り上げ償還についてどのようなパターンを考えているのか。

答 減債基金は今、1億1千500万円あるので、今年度、来年度と積んでいき、目標とし



外壁補修工事が進む役場庁舎

公共施設の削減

て3億円まで積んだところで、令和4年度に返せば理想と考える。今後検討していく。

問 公共施設総合管理計画の今後の進め方で、公共施設を4%減らせるというのは、いつ頃案として出てくるのか。

答 途中経過を12月に報告し、来年3月の議会には示す。

移住された方への対応

問 移住された方の暮らしのギャップが、融和されるような取組をしてほしいか。

答 地元になじみにくいと聞いている。移住後のフォローはやってきていないので、検討しながら早い内に行っていきたい。

税金の滞納問題

問 滞納の繰り越しが年々増えている傾向が見られる。景気の悪化などにより仕事が大変になったことの反映と考えるが、生活の再建も一緒に考えた取組をお願いしたい。また、滋賀県の野洲市は債権管理条例を作っている。条例化の研究も含めた取組をしてほしいが考えは。

答 滞納繰り越し額は29年度に比べ全体で103万円減額となっている。差し押さえ金額としては大口が1件あり、500万円の差し押さえとなっている。生活困窮については、配慮していきたい。また、コミュニケーションをとりながら、分納誓約をしたりしながら対応していく。

防災対策万全に

問 今年の総合防災訓練時に「無事ですエコバック



無事ですエコバック

ク」が自治会加入数で配布された。一人一人の命を守ることから、来年度に向けて全住民の配布の取組をしてほしいか。

答 自治会や自主防災会に縛られない、全町民に渡したいという願いである。手元のない方については役場にとりにきていただくということから、4千枚作成した。この運動を広く推し進めたいと考えている。自治会イコール自主防災会ではない。

ごみ集積所のあり方



しっかりと管理されている
ごみ集積所

問 ごみ収集について、ゴミ集積所まで運ぶのが大変な所があり、増やすことはできないか。

答 町全体の平均は20戸で1力所である。自治会に投げかけ、見直していくような形がとれればと考えている。

要望 集積所までは大変になってくるので、家庭の前に集積ボックスを置く所もあり、今後の対策を研究してほしい。

若者の検診率

問 ヤング検診の受検者数は何人か。

答 国民健康保険の対象者は平成30年度189名で、その内45名が受けた。受診率は23.8%である。



ヤング検診

大腸がん予防

問 がん集団検診で、大腸がんが気になるところであるが、予防策はなにか。

答 バランスよく食べるという重点目標で、野菜を多く食べるというところもがん予防のためにも啓発していきたい。

花の苗事業の検証

問 花の苗購入補助金について、以前は各戸に千円分の補助があった。現状

在の形を変える方法は考えているのか。

答 今回の制度の中で、町の通りに面したところを重点においたが、費用対効果が低いと感じる。今後検証しながら、検討したい。



整備されている花壇
(二丁目自治会)



ハーブセンター東側の
ハーブガーデン

花とハーブの里再生

問 花とハーブの里再ブランド化事業について、住民の意識はどう変わってきているか。

答 思い入れを持って取り組んでいる方と、無関心な方の存在がある。関心を持っていただく方法を考えていきたい。また、専門家の養成も行っている。その方に活躍していただき、ハーブの普及を行う。

にぎわいの再生

問 町なかのシェアベースにぎわいで開催された「賑わい拠点事業」について、ワインイベントの委託費76万円に対して、参加者が29名と費用対効果が悪いと思うか。

答 はじめての試みで問題点があった。ワインの内容、各種準備、企画費等で大きな金額になったと報告されている。



シェアスペースにぎわい
(二丁目)

交流センター「かえで」のこれから

問 交流センター建設事

業も無事竣工を迎えた。ここまでワークショップ等たくさんの方々が携わってきたが、今後その方々に達成感やさらなる意欲を持っていただくために、評価と改善を含めた企画の考えは。

答 おかげさまで、良いスタートができています。今後、懇談会等を行っていききたい。また皆さんの意見を聞いていきたい。



交流センター「かえで」竣工式

問 図書館費のシステム費が年間400万円ほどかかっている。来年度以降、費用を抑える方向で他市町村と共同運用していくことを検討できないか。

答 今後、連携のシステムが進化していくので、研究課題として取り組む。

同意案件

新教育委員会を同意

欠員となっていた教育委員に後藤博志氏(二丁目)を議会として同意した。後藤氏は51歳。浄念寺の住職を務めている。また、再任の教育委員として森泉恵子氏(渋坂)を同意した。



新教育委員の後藤博志氏

議会中継が見られる場所

あづみ野テレビでの中継に伴い、以下の場所で開催中放映しています。次回の中継は12月議会です。

○池田町役場ロビー・2階大会議室

○シェアベース・にぎわい(二丁目)

○交流センター「かえで」(二丁目)

〈表紙〉会染保育園運動会「みんながみんな一等賞」

10月5日、前日までの台風が心配されるなか、2つの保育園で運動会が開催されました。会染保育園では全園児99名が、元気よく園庭でかけっこやダンスを披露。保護者の方のほか、地域の方も応援に力が入ります。特に年長さんの「かけっこ」は一生懸命カーブぎりぎりに走り抜ける姿が印象的でした。参加した子どもたち全員が一等賞だった秋の一日です。



令和元年度一般会計補正予算の目玉

公民館跡地ミニ公園整備事業
工事請負費 3926万円

公民館を取り壊した跡地を駐車場、トイレを設置したミニ公園にする。

財源 一般財源1036万円 +
社会資本総合整備事業債2890万円



取り壊される公民館

遊具の撤去 94万円

老朽化した遊具を町内13か所の公園から33基撤去する。

財源:町一般財源



取り壊される予定の3丁目の遊具

豚コレラ対策事業 86万円

飼育豚が野生のイノシシと接触することがないように柵を作るなどの対策を取る。

財源:国県支出金



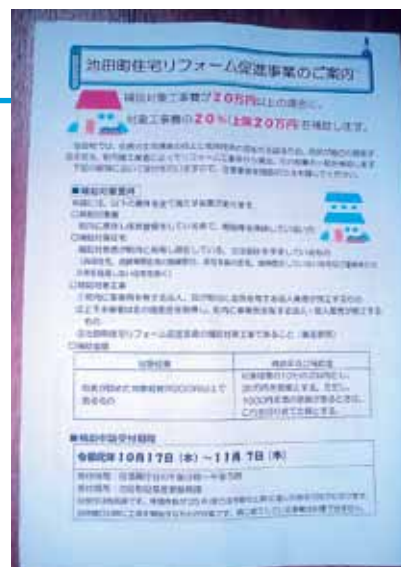
役場玄関に設置された豚コレラ拡散防止消毒マット

住宅リフォーム促進事業補助金
500万円

町民が町内の施工業者による住宅リフォーム工事を行った場合、その経費に対して上限20万円の補助金を交付。

担当課:産業振興課

財源:町一般財源



配布された住宅リフォーム促進事業の要綱

※金額は、1万円以下は切り捨てにしております。

7月臨時会(7月18日開催)

元年度一般会計補正予算

交流センター
什器備品購入の契約
1566万円 可決



交流センターの椅子

長野県消防ポンプ
操法大会参加費用
92万円 可決

(7月28日、飯田運動公園開催)



3位入賞 小型ポンプ操法

8月臨時会(8月29日開催)

ブドウ畑の工事期間の延長

中鵜地区ブドウ畑にて豪雨による被害を受けた部分の修復が必要になったことで、竣工期限を令和元年8月30日から12月25日に延長 可決



豪雨により崩れたブドウ畑の工事現場

常任委員会

総務福祉委員会

○令和2年度より町の臨時職員を
会計年度任用職員に切り替え

問 昇給はあるのか。

答 再度任用の場合、1号棒給与が上がる。

問 育児休業は取得できるのか。

答 現在の臨時、嘱託職員と同様、育児休業はない。

会計年度任用職員待遇

区分	給料・報酬	通勤手当	期末手当	手当等	社会保険	退職手当
パートタイム	報酬	○ 費用弁償	○ (2か月分)	○ (時間外勤務)	協会けんぽ、厚生年金、雇用 保険(条件を満たせば)	×
フルタイム	給与	○ 通勤手当	○ (2か月分)	○ (時間外勤務)	協会けんぽ、厚生年金→共済	○

予算決算特別委員会審査意見(抜粋)

- 実質公債費比率が前年度より1.6%増え、10.4%になった。今後の財政運営に十分留意し、町民福祉の充実に努められたい。
- 第三者による事務事業評価について研究、検討されたい。
- 高齢者の足の確保に町内循環線のデマンド化等を検討されたい。
- 交流センター開設に伴い、町中の道路交通状況が大きく変わる。交通安全のさらなる強化をお願いしたい。
- 新教育大綱は町民の意見を聞き、町民にわかりやすい言葉で策定されたい。
- 公共施設等総合管理計画の策定にあたっては、町民、議会の意見を十分に聞いて実施されたい。

本 会 議 質 疑

【議案】会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定

問 フルタイムの方とパートタイムの方の時間的な違いは何か。

答 一般職員は 7 時間 45 分が通常の勤務時間で、これよりも短い職員はパートタイムである。

問 任用について、年度切り替え等で空白期間が生まれるのか。

答 各年度での任用になるので、空白期間は生まれない。

【議案】ハーブセンター設置及び管理に関する条例の一部改正

問 どうしてこの条例の改正が必要になったのか背景と現状は。

答 より町の計画と考えを一層反映したい。現状は指定管理者しか管理できないので、町の直営も可能とする改正である。

本 会 議 討 論

〈会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定〉

賛成です

薄井孝彦 議員

国の法律改正に基づいて臨時職員の待遇改善をするものであり、今までに比べれば大幅な待遇改善が図られた。

〈平成30年度一般会計歳入歳出の決算の認定〉

賛成です

薄井孝彦 議員

町なかの賑わい活性化を目指す交流センターの建設、道路事業、土地改良事業、小学校改修や児童クラブ施設の整備されたことなどを評価したい。

〈一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定〉

賛成です

矢口 稔 議員

この議案は高い見識を持った人材を登用できる制度である。行政の関係する事業も近年専門性が高まっている。防災関係など実績も生まれている。町にとってプラスになることを期待して賛成討論とする。

陳 情 ・ 請 願 審 議

請 願

（請願）国の責任による 35 人学級推進と、教育予算の増額を求める請願書

審査結果 採択

（請願）義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願書

審査結果 採択

（請願）「へき地教育振興法に鑑みへき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書

審査結果 採択

（請願）池田町営松川村緑町自転車駐車場屋根等の整備

審査結果 採択

陳 情

〈陳情〉私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書

審査結果 採択

〈陳情〉消費税 10% への増税を直ちに中止することを求める意見書提出の陳情

審査結果 趣旨採択

薄井孝彦 議員

賛成討論

多くの国民の実質賃金がずっと下がってきており、本当に生活が苦しくなっている。ますます景気が悪くなって、本当に日本経済はどうなってしまうのかということが心配である。よってこの意見書は採択すべきである。



屋根が設置されていない町営駐輪場（松川村）



主な議案の説明と 審査結果

9月定例会
提出案件

○…賛成 ●…反対

	審査結果	松野亮子	大厩美秋	中山眞	横澤はま	矢口稔	矢口新平	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	那須博天	倉科栄司
認定	平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成30年度工場誘致等特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成30年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成30年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成30年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認	令和元年度一般会計補正予算(第4号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案	平成30年度水道事業会計の剰余金処分及び決算の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定 地方公共団体の臨時職員は全国統一的に来年度から会計年度任用職員の制度となり、職員より勤務時間の少ないパートタイムの職員の制度を定める。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の制定 職員と同じ勤務時間のフルタイムの職員の給与等の条例を別に定める。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定 専門的な知識経験または優れた見識有する者を町が任期を定めて採用可能とする。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定 旧姓による印鑑登録ができるようにする。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	ハーブセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定 道の駅東側区域を指定管理方式のほか、町が直営での管理ができるよう改正。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	農産物加工販売施設設置及び管理に関する条例の制定について ハーブセンター南のエルプ池田・レストラン棟を指定管理が可能にする改正。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和元年度一般会計補正予算(第5号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和元年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和元年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成30年度公共土木施設災害復旧事業 第332号 町道300号線道路災害復旧工事変更請負契約の締結 中之郷地区の町道復旧工事の工法変更により増額変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和元年度一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発委	森林整備を求める意見書 県と県議会に対して森林整備の充実を求める意見書を提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議	議会改革等検討委員会の設置	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	私立高校への公費助成に関する意見書(国への要望)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	私立高校への公費助成に関する意見書(県への要望)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
陳情	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	消費税10%への増税を直ちに中止することを求める意見書提出の陳情	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	—
請願	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	町営松川村緑町自転車駐車場屋根等の整備	採択	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—

※倉科議長は表決には加わりません。

一口メモ

請願(陳情)の採択・不採択…議会がその内容を審議して決定した賛否の意思決定のこと

表決(可決・否決・同意など)…議会の意思決定(個々の議員が参加し、議題などに対して賛成、反対の意思表示する)議長は表決に加わらない。

常任委員会の活動レポート

振興文教委員会

森林整備を求める意見書を了承

昨年から懸案であった、長野県への要望である「池田町の森林整備を求める意見書」について9月定例会に発委として議題にした。

振興文教委員会では様々な検討をし、全議員に諮った結果、了承された。

多面的機能を有する池田町の町木であるアカマツは、町民の暮らしに欠かせない働きをしている。しかし急激な松くい虫被害で、土砂崩れなどの災害の原因と景色の荒廃を招いている。このことにより町民生活を脅かす事態となっている。そのことを踏まえ県の補助制度が必要と考え、以下の要望を意見書として了承された。



1. 池田町のような松くい虫被害激害地での施業に対する県補助制度を新設すること。
2. 林地台帳整備や森林簿情報の更新などに対し県の支援を行うこと。
3. 大北森林組合再生のため人材確保などに対し、県の支援を行うこと。

募集します

一緒に有機野菜を育ててみませんか？

議員主催の池田町有機農業研究会（仮称）へのお誘い

議員有志と一緒に有機野菜を育ててみませんか？有機農法と言っても、やり方はさまざま。具体的な農法は、集まったメンバーで話し合っ決めてたいと思いますが、最終的には無施肥（つまり、肥料代がゼロ円！）の畑を目指したいです。収穫ができれば、収穫祭で楽しみましょう！土づくりからスタートします。1回あたりの集まりの作業内容や時間は、すでに田畑をやっている方の負担にならないように、最低限にします。

興味のある方は、松野までご連絡ください

場所：花見の和澤議員の畑（詳しい場所は希望者にお知らせします）

問い合わせ・連絡先：松野（電話：0261-72-0710）



研究会マスコットのひめちゃん

議会改革に取り組みます！

議会改革等検討特別委員会設置

9月定例会において、議会改革に関する特別委員会設置を全会一致で可決した。目的は議会議員の定数及び報酬を含めた議会基本条例の見直し等とした。議員の半数6名を委員として選出し、今回の議員任期を設置の期間として、議会閉会中も必要に応じて委員会を開催する。

9 議員が町政をたずねます！

ここが聞きたい

9人が一般質問を行いました

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をともに、町長や教育長などの方針を問うものです。

池田町は1人60分の制限時間内で質問します。議会だよりは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしております。

質問者	質問事項
矢口 稔 議員	・ 町内各地で開催されるイベントの現状と、町民みんなが参加できるイベントの実施について ・ 交通安全を維持するための「ドライブレコーダー補助金」導入について ・ 町長の町政運営の評価について
横澤はま 議員	・ 「子どもの生きる力」を育む食育推進について ・ 子どもの貧困解消への対応について ・ 里山に息づく魅力ある広津・陸郷の美しい地域づくりについて ・ 公共施設を利用した有効的な防災対策について
大厩美秋 議員	・ 池田・会染保育園保育室へのエアコン設置について ・ 高齢者運転車両への「急発進防止装置」取付に助成制度を ・ 「やすらぎの郷」への郵便ポスト設置について
矢口新平 議員	・ 池田工業高校について ・ 高齢者の運転免許証の自主返納について ・ 池田あっぱれについて
松野亮子 議員	・ 町のサル対策について ・ 情報公開条例の運用について
薄井孝彦 議員	・ 高瀬川の洪水防止など、防災対策について ・ 町の地下水保全に向けた取り組みについて ・ 「池田町選挙公報を発行する条例」の制定について
服部久子 議員	・ 教育大綱に経済格差と教育格差の連鎖に対する方針を ・ 就学援助の充実を ・ すべての保育園児に給食費の無償化を ・ 早急に有効な交通弱者対策を
大出美晴 議員	・ 池田工業高校は町にとってどんな存在と考えるか ・ 地域おこし協力隊の活躍を地域の活性化にどうつなげるのか ・ 町の行事である「あっぱれ」の位置づけとこれからの方向性は
中山 眞 議員	・ 池田町第6次総合計画について ・ 昭和49年竣工の役場庁舎をどう捉えているのか



ふるさと祭り 来年度の実施体制は

矢口 稔 議員

問

ふるさと祭り「池田あっぱれ」は町民にとって夏一番のイベントであり、池田町民が一つになることを実感できる事業である。しかし、近年になって踊り連の減少等マンネリ化が見られる。来年度は交流センター「かえで」を中心とした会場へ移動することとなった。来年度の実施体制は。

答

心機一転、開催内容も刷新したい。自治会を通じてニーズをお聞きするなど、より魅力的なふるさと祭りを開催したい。実行委員会も年内をめどに開きたい。

花見ホタル祭り 町の支援拡充を

問

毎年6月下旬頃に、「花見ほたる祭り」が開催されている。県内外から来町される方も年々増えてきた。一方で、花見地区のみなさんはホタル水路の管理、餌になるカワニナの養殖、そして約1週間に渡るイベント運営と、地区を挙げて力を注いでいる。町も今まで以上に支援すべきと思うが。

答

自治会より来年度以降の開催を断念したい旨の話があった。イベント部分については、会期を短縮するなど工夫をし、町観光推進本部を主体に継続開催する方針である。



学校教育全体で取り組む食育指導体制は

横澤はま 議員

問

「学びの郷・保小中15年プラン」で、「子どもの生きる力」を育む食育指導体制はどのように整えるか。

答

子ども一人ひとりの生きる力を育むために不可欠な健康増進の環境づくりの視点を明記する。その具現化のための食育に関する実践方針等について、次期教育大綱の理念に基づき来年度の作成を検討している。「保小中15年プラン実践ガイドブック」の中で示したい。

問

等しく食育を受けるために栄養教諭学校栄養職員が1名減になった場合の対応策を。

答

人員体制維持を最重要課題として、県費負担教職員2名体制の維持を強く要望し続けるとともに、県教委との協議を粘り強く進めていく。

子どもの貧困解消への対応は

問

子どもの貧困解消に向けた取組はどのように進めるか。

答

教育支援、生活支援、保護者に対する支援の取り組みを引き続き行っていく。特に「生き抜く力」「学びへの意欲」を高める教育面からの支援に力を入れたい。



保育園へのエアコン設置は

大塚美秋 議員

問

今年度予算で、両保育園の「ゆうぎ室」に、エアコン設置が決まっているが、まだ設置されていない。工事の進捗状況は。

答

設計段階で時間がかかりすぎた。現在着手した。夏に間に合わなかったことについては、反省すべきところである。

問

小学校、中学校は、全ての通常教室にエアコンが設置された。両保育園にも全ての保育室にエアコンを設置してほしいが。

答

小中学校は交付金があり実施できた。保育園は交付金がない。エアコン以外の冷却方法、水分補給、エアコンのある部屋の活用で対応したい。設置については、今後状況を踏まえて検討していく。

高齢者運転車両への「急発進防止装置」取り付けに助成制度を

問

高齢運転者の死亡事故で、ブレーキとアクセルの踏み間違えが特に多くなってきた。このような事故の防止軽減ができる「急発進防止装置」に助成制度を。

「ドライブレコーダー」補助金の創設を

問 当町も高齢ドライバーが増加している。交通事故防止のためにも、適切な補助を受けられるよう提案するが。

答 自分の運転を見直すきっかけにもなるが、安全運転意識の向上は限定的である。現在導入の考えはない。

問 町の公用車39台のうちドライブレコーダー導入は3台のみである。昨年度7件の事故があった。公用車全車に導入すべきでは。

答 補正予算または新年度予算で対応したい。

町長の町政運営の評価は

問 1期目の任期が残すところ約半年となった。町政運営の自己評価は。

答 学校給食費への補助、ワイン特区認定、大型は場整備など政策が展開できた。現時点では75点程度の自己評価としたい。



夏一番のイベント
「池田あつまれ」

魅力ある広津・陸郷の美しい地域づくりを

問 安心・安全な暮らしのできる再生復興を目指すプロジェクトチームを立ち上げ、山間部の美しい地域づくりを進めるべき、と考えるが。

答 各課で連携し、土地利用計画も踏まえながら、地元住民の考えや思い、声を聴き、地域づくりに努めていく。

公共施設を利用した有効的な防災対策は

問 交流センターを代替災害対策本部、指定避難所に。

答 交流センターを代替施設には考えていないが、新たに施設を検討している。帰宅困難者、観光客を対象に検討中である。



いにしへの広津小・中学校跡地ここにあり

答 東京都等で補助制度が導入されている。長野県ではまだ事例はない。安全面で性能評価に関する基準がなく、製品の安全性が確立されていない。需要が高まっていることは事実。今後の検討課題としたい。

「やすらぎの郷」に郵便ポストを

問 郵便ポストを「やすらぎの郷」に設置できないか。

答 穂高郵便局に調査していただいた。郵便局の見解は、設置基準を満たしておらずポスト設置は難しいとのことであった。再度今後の動向を聞き、必要性を伝えたい。



みんなが安全運転!



池田工業高校の存続は
矢口新平 議員

問

池田町から池田工業高校がなくなってもいいのか。

答

池工は、池田町で生まれ地域によって育てられた地域高校であり、旧12通学区の協議会では当町の立場を大いに主張する。

問

長野県教育委員会は、高校改革実施方針を作った。来年の3月までには再編、整備計画を策定するとした。旧12通学区内では、池工が対象となる事は間違いないと思う。池田町としても独自の施策を取り入れないと、池田町の県立高はなくなってしまうと思う。町長として短い期間、どのように行動するつもりか。

答

大正10年に「町立池田実業補習学校」として設立され、昭和24年に県立校となり、昭和38年に現在の工業高校となった。地域高校として池田の町民によって育てられ、地元企業からもものづくり精神で根付いている。池田町にとってなくてはならないものである。

高齢者の運転免許返納対策は

問

高齢ドライバーの交通事故が多発している。大北地方の交通事故の60%



サル被害に対する町の総合的対策は
松野亮子 議員

問

広津、堀の内、中島各地区でサルが頻繁に出没し、農作物の被害や物品の破損などの被害が深刻になっている。堀の内地区では、自治会が中心になってスマートフォンを利用した住民同士の連絡網を立ち上げた。至急、対策を取ることが求められる。現時点で、町はどのような対策を取っているのか。

答

オリによる捕獲、ロケット花火・爆竹での追い払いや、鳥獣被害対策実施隊によるパトロールを行っている。

問

これ以上被害が拡大することのないよう、総合的な対策を取るために専門家の助言を受け、必要な機器購入・システム構築のための財政的措置を検討すべきだと思うが、町の方針は。

答

生息域・行動範囲等の調査、有効な個体数調整方法や追い払い等を行うには、専門家の助言や地域住民の協力が必要であり、これらを実施するための機材購入や活用管理方法等の仕組み作りも必要であると考えている。国の補助金を活用して地域住民と調整しながら総合的な対策を行う予定である。



「選挙公報を発行する条例」の制定を
薄井孝彦 議員

問

町長・町議会議員選挙の際、候補者の経歴・政見などを掲載した選挙公報を発行し、町民に届ける条例の制定を。

答

12月町議会に条例案を上程し、来年3月の町長選挙からの実施を考えている。

大雨による高瀬川洪水防止対策は

問

県は近く最大想定規模降雨量に基づく高瀬川浸水想定図（以後、想定図）を告示する。どのように対応するか。

答

想定図に基づき町のハザードマップを策定する。作成の時期や住民説明の時期は近隣市村と協議し進める。

問

役場の非常用自家発電機は地上にある。浸水で使えなくなる場合の対策は。

答

想定図をみて慎重に検討する。

問

県に要望した「高瀬川中之郷堤防修復工事」及び「高瀬川の流木・立ち木・土砂除去」の進捗状況は。

答

高瀬川中之郷堤防修復工事は本年10月末頃には完成予定と聞いている。流木・立ち木の除去は、本年・来年の2カ

以上が高齢者からみである。免許証の返納が年々多くなっている。町として、交通弱者や、買い物難民にならぬよう対策を考えているか。

答 町内を走る巡回バスにてカバーできていると思うが、デマンドバスや乗り合いタクシーなどいろいろ考えて移動支援について検討していく。

「池田あっぱれ」の刷新は

問 池田ふるさと祭りについて、長年やってきてマンネリ化しているように思うが、来年の方向は。

答 池田ふるさと祭りは、当町の一大イベントの一つである。来年度からは、場所を変更する予定である。今年12月までに検討会を開き新しい企画で一新したい。



県教委が示した高校改革実施方針

情報公開条例について

問 池田町の情報公開条例は、公文書の公開を求めることができるものを、町民、町の事業者や町に勤務・通学するものなどに限定している。だが、大町市と安曇野市では、誰でも情報公開請求が可能である。池田でも同様の条例改正を検討してほしいが。

答 安曇野市では、合併前の各町村の条例は池田と同様だったが、平成18年の合併で、誰でも情報公開請求ができるとの条例改正を行った。当町でも同様の対応をしたい。

問 公開文書のコピー費用が池田町ではA3サイズまで1枚20円となっているが、近隣他市町村では10円である。現行のコピー費用は比較的高いので、せめて近隣他市町村と同額に変更できないか。

答 コピー料金については、情報公開条例に基づくものだけでなく、町で行うその他のコピーについても同額の料金であるが、今後、コピー料金について見直しをしていく。



サルの被害が絶えない

年で流路を川の真ん中とする工事のなかで行うと聞いている。

問 高瀬川の洪水対策として、高瀬川での民間業者による砂利採取を認め、川の容積を拡げることが県に要望を。要望していく。

町の地下水保全に向けた取り組み

問 町として地下水を保全していく条例の制定を求めるが。

答 条例の制定に向け検討していく。

問 安曇野市で進めている「水田機能維持・地力促進事業（麦後湛水）」を営農副次効果として町も推奨を。

答 課題があり、推奨は難しい。

問 町の浅井戸の調査を。

答 水位計のある事業所等の調査を行う。



役場の非常用自家発電機



「麦後湛水」
麦などの収穫後に田に水を張って地下に浸透させ、地下水の保全につなげる。



教育大綱に教育格差に対する方針を

服部久子 議員

問

子供の貧困率は、7人に1人になっている。教育大綱に経済格差が教育格差につながらない施策、方針を求めるが。

答

個々の能力が豊かに育まれる環境をめざすことを明記し、具体施策は、「子ども子育て支援事業」で進めたい。

就学援助の充実を

問

就学援助の申請は、判断し易いよう家族人数ごとの基準額を示し、申請提出には、きめ細かい配慮を。

答

制度の説明文書を各家庭に配布し、対象項目を3点上げている。税金関係で不明な点は、問い合わせをお願いする。申請受付は教育委員会、学校で柔軟に対応している。

問

国は卒業アルバム代を援助項目に追加した。高額なので町も援助項目に追加を。援助受給者のうち27人が眼鏡が必要とされた。眼鏡の支援を求める。

答

小学生にアルバム代800円を補助している。眼鏡支援は考えていない。



池田工業高校は町にとってどんな存在か

大出美晴 議員

問

今、池田工業高校は高校再編の渦中にある。今まで存在して当たり前のものが消えてしまう。そんな存在でいいと考えるのか。

答

仮に統合移転となると、当町にとって大きなダメージになると感じる。高校のあり方を考える協議会が立ち上がったので、その中で当町の立場を十分主張していく。将来の生徒たちが、池工を選択できないあるいは、魅力をなくするような状況は避けたい。

地域おこし協力隊の活躍を地域の活性化にどうつなげるか

問

地域おこし協力隊員が自分たちの能力をフルに発揮できる場を作り出し、地域に定住し生きる糧をその地で見つけることで「起業」もあるはず。そのためにもっと地域に溶け込む必要があるのでは。

答

町が様々な分野において求めることが、協力隊員に理解され起業の目標としていることに合致すれば、士気も上がり地域の活性化につながるはず。現在、協力隊員の定住・起業等の実績は他自治体と



第6次総合計画の進捗状況は

中山 眞 議員

問

第6次総合計画進捗状況について、膨大な目標の中で、町民にその状況がわかりにくい。現在最優先に取り組んでいる施策は。

答

総務課 全国各地で災害が発生していることから、防災対策を優先的に取り組んでいる。

企画政策課 人口減少対策に力を入れ、転入増、転出抑止に補助金を拡充している。健康福祉課 健康推進の充実のため、食育推進、減塩活動に力を入れている。

産業振興課 農業担い手確保、経営安定化、企業への支援に重点を置き取り組んでいる。学校保育課 交流センター「かえで」において、子どもから高齢者の方たちまで広く要望を聴きながら、利用向上を図っている。

役場庁舎をどう捉えているのか

問

大きなひび割れが多数発生している。町民から見て暗いイメージ、町民を迎え入れる空間になっていない等の意見がある。防災観点も含めて、現在の役場庁舎についてどう捉えているのか。

答

耐震診断、耐震補強設計を平成16年度に実施し、平成18年に補修工事を

すべての保育園児に給食費の無償化を

問 町は、国の保育料無償化に伴い、3歳以上の副食費を無料にしたが、3歳未満児の保育料は高額なので副食費の無償化を求めるが。

答 国の保育料無償化に合わせて3歳以上の副食費を無料とし、3歳未満は、住民税非課税世帯のみとした。3歳未満はできない。家庭で愛着形成を図ってほしい。

早急に有効な交通弱者対策を

問 高齢者の声を聞き、デマンド方式や、タクシー補助制度など、複数の交通体制で交通弱者対策を早急に求めるが。

答 現在の運行形態を継続し、地域公共交通会議で今後の交通の在り方を検討する。



町営バスセンター(三丁目)

比べ成功している。この流れで地域に溶け込めるよう、町もできるだけ支援と協力をしていく。

町の行事である「あっぱれ」の位置づけとこれからの方向性は

問 時が流れる中で、代も変われば考え方も変わる。しかし、盆踊りにたくさんの方が参加し、踊る姿を楽しみにする団体もいる。町としてこれからの「あっぱれ」をどう進めるのか。

答 池田ふるさと祭りも時代の経過とともに変化しながら、今年で35回目を迎えた。来年度は会場変更も予定する中、町民の皆様の意見も可能な限り反映させつつ、新たな企画を模索し、皆様に高評価を頂けるよう努める。



にぎやかに開催された池田あっぱれ(平成29年)



第6次総合計画のPDCAサイクル図

完了した。緊急時非常用電源設備は約85時間の使用が可能である。各種データのバックアップは外部サーバー、各課の共有フォルダーで保存している。
老朽化のイメージはあるが、町政を核として45年の歴史を刻んでおり、建物に対する愛着と感慨深い思いがある。町民を迎え入れる観点で、できる限りの工夫と改善を図っていききたい。

シリーズ 町民の 皆さんに聞く

— 第12回 —

議会報編集委員会が町民の皆さまにお聞きし、生の声を届けます。



こさかまなみ
小坂愛美さん（陸郷）

略歴・活動内容

1989年生まれ（30歳）。新潟県出身。池田に引っ越したころは事務の仕事をしていましたが、今は主に主婦業。空いている時間を使って、ミツロウ・エコラップを広める活動をしている。

愛美さんは夫の茂登さんと音楽イベントで知り合ったのをきっかけに、2011年に陸郷に引っ越してきました。今年で陸郷での生活は8年になります。5歳の男の子と2歳の女の子、それと今年の8月に生まれた女の子の赤ちゃんの3人のお子さんのお母さんです。

陸郷に住んで一番よかったと感じているのは地域の住民同士の助け合い。例えば、愛美さんが出産直後に動けなかったときに、近所のおじい

さんが保育園に通っている子供の送迎をしてくれたり、車のバッテリーが上がってしまった時に、助けてくれたり。愛美さんもご近所の人が留守の時に飼い犬のえさやりを頼まれたりと、助けてもらっただけでなく、自分が役に立っていると感じるのがうれしいとのこと。

茂登さんも神奈川県出身の移住者で、広津に住んでいた友人のところに遊びに行ったのがきっかけで、陸郷に縁ができた。陸郷に住み始めました。ご夫婦ともに、移住者を暖かく迎え入れてくれた陸郷をとても気に入っており、地元から離れるつもりはないそうです。

愛美さんは、マイクロプラスチックの問題を身近なところから何とかしたいと、今年からミツロウのエコラップのワークショップを始めました。時々、マルシェなどに出店して販売も行っています。町への要望は、子育て世代として、農薬の子どもへの影響が気になるので、環境に配慮した農

業を進めてほしいということです。

聞き手…松野亮子



エコラップで包まれたナス



エコラップを張り付けているところ

一般質問を傍聴して

遠藤 大也さん（坂下）

初めての町議会一般質問を傍聴する気になったのは、私の支援する町議が初質問することになり、興味を持ちました。一般質問2日目に傍聴した次第です。

第一印象は質疑応答が甘いという印象です。質問者と町職員の激しいバトルを想像していただけに、何か仲良し仲間の話し合いみたいに感じました。

身近な問題を徹底的に意見交換して、町の行政執行にいかしてもらおうという希望します。全体の傍聴をしていないため、一部の感想で申し訳ありませんが、問題を簡潔に表現し、具体策を突き止めるよう要望します。

形式的な面も見られました。改善を望みます。それと、町民が議会に関心を示し、傍聴者が増えるような議会運営を切に望みます。

編集後記

方と接しながら、ご意見等拝聴していきたいと思います。

中山 眞

議会報編集特別委員会

委員長 矢口 稔
副委員長 中山 眞
委員 松野 亮子
大出 美晴
服部 久子
那須 博天

次回議会だより発行は令和2年1月29日（水）を予定しています。ぜひ、御覧ください。